令和7年度　金蘭千里中学校・高等学校　学校評価

1．めざす学校像

・「私塾・道場・自主独立」、「スポーツマンシップの涵養」、「自然に接する」という建学の精神を基本とする。
・コミュニケーション能力、リーダーシップ、柔軟性を兼ね備えた、社会に有為な人物の育成を目指す。

2．中・長期的目標

（1）生徒指導の充実
　教員・教科間、家庭との連携や情報交換により、適切に指導し人間力向上を図る。

（2）学習指導の充実
　学習活動の成果の検証結果に基づき、本校教育全体の水準を引き上げる。

（3）進路指導の充実
　自分の将来を見据えての自己実現のために、適切なキャリア教育・進路指導を行う。

（4）信頼される学校づくり
　教員の資質向上を図るとともに、生徒・保護者から信頼される学校づくりに努める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析（令和8年2月実施）	学校関係者評価委員会
【学校運営】 ・「建学の精神を理解し、教育活動に努めている。」について、教員の自己評価は肯定意見が95%と高く、保護者の肯定意見も86% ・「同じ学年・教科・分掌の教員間で連携するように努めている。」について、教員の自己評価は肯定意見が100%と非常に高い。 ・「クラス・学年・学校運営について、保護者との連携を図っている。」について、教員の自己評価は肯定意見が86%、保護者の肯定意見も83%と高い。さらにこの数値を高めていきたい。	○学校運営について ・建学の精神に基づいた教育活動については十分に評価できる。 ・保護者との連携については自己評価、保護者の評価ともに一定水準であるが、さらに努力して欲しい。
【教育内容】 ・「授業研究を十分にしている。」について、教員の自己評価は肯定意見が95%と非常に高く、「本校の授業内容は充実している。」について、生徒、保護者の肯定意見はそれぞれ89%、83%と一定水準を満たしている。さらにこの数値を高めていきたい。 ・「20分テスト（本校の基本）の結果を速やかにフィードバックしている。」について、教員の自己評価は肯定意見が91%、生徒、保護者の肯定意見はそれぞれ85%、75%と一定水準ではあるが、さらにこの数値を高めていきたい。 ・「文化祭・体育祭・合唱祭・各種講演会・校外学習などの行事を通して、生徒の学校生活を充実させている。」について、教員の自己評価は88%と昨年より高くなり、生徒、保護者の肯定意見はそれぞれ90%、94%で、昨年並みであった。	○教育内容について ・予習→授業→復習→20分テストという本校生の学習パターンは60年間変わらず成果を上げていると考えられる。生徒・保護者からみて、授業内容の充実をより一層感じられるように努力して欲しい。 ・文化祭・体育祭・合唱祭・各種講演会・校外学習などの学校行事が近年特に充実してきているようで、生徒のコミュニケーション能力・リーダーシップ等を育てる環境が整ってきたのは有難い。
【生徒指導・支援】 ・「本校の生活指導の基本方針を理解し、生徒指導にあたっている。」について、教員の自己評価は93%と高く、「本校では、生活指導が適切に行われている。」についての生徒・保護者の肯定意見も82%と一定水準。 ・「生活指導において、担任または家庭と連絡を取りながら行っている。」について、教員の自己評価は肯定意見が98%、保護者の肯定意見は66%と低い。 ・「目の前にいる一人一人の生徒に向き合い、支援している。」について、教員の自己評価は肯定意見が95%と高い。 一方、「本校の教職員は、生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれる。」について、生徒の肯定評価は88%とかなり高く、「本校では学習や進路などに関する生徒個人面談が必要に応じて実施されている。」について、生徒の肯定評価は83%と、昨年より高くなった。	○生徒指導・支援について ・生徒指導、生徒支援についても一定水準をクリアしているが、教員と生徒、保護者の肯定意見の数値に大きなずれがある項目については、今後改善するように努力して欲しい。 ・生活指導については、教員によって指導方法にやや差異があるようなので、生徒や保護者が混乱しないように、教員間でより連携を深めて欲しい。
【教員研修・資質向上】 ・「初任者等、経験の少ない教員をサポートしている。」について、教員の自己評価は肯定意見が67%と昨年よりかなり低くなった。 今後改善できるよう努めていきたい。 ・「校内外の研修を受け、資質向上につなげるよう努めている。」について、教員の自己評価は肯定意見が58%と低い水準であった。 学校業務が忙しくなっている現状も原因と考えられる。	○教員研修・資質向上について ・教員の力量の平均は一定水準をクリアしていると思うが、やはり個人差はあるようなので、教員間のサポート体制には今後も気を配ってもらいたい。 ・より良い教育のために、そして自己満足に陥らないためにも、忙しいとは思うが、必要に応じて研修を受け、研鑽を積んで欲しい。

3．本年度の取り組みと達成状況

目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
（1）生徒指導の充実	・教員・教科間、家庭との連携や情報交換により、適切に指導し人間力の向上を図る。	・毎朝、7時45分～8時30分まで、生活指導部が中心となって、最寄駅から学校間に立ち、挨拶、服装の指導を行うこと、さらに日々のHR等でも指導を継続することによって、正しい容儀挨拶の励行など基本的な生活習慣の確立を目指す。	「本校では、「正しい容儀で明るく挨拶」の意味が説明され、指導が行われている。」（アンケート21） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が93%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ80%、78%。 本校創立以来の「正しい容儀で明るく挨拶」は学校生活の基本であり、継続指導が行われている。生徒の認識も昨年に比べて向上した。 より積極的に指導していきたい。（○）
		・学校と家庭が連携して生活指導を適切に行う。問題行動があった場合に、担任、教科担当、生活指導部、家庭がよく話し合い、連携、協力して生徒の指導にあたる。なお、昨年度より指導レベルを定めた「金蘭千里五則」を導入し、生徒の自習性を尊重すると同時に、意識のより一層の向上を図ることとした。	「本校では、生活指導が適切に行われている。」（アンケート20） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が93%、生徒・保護者の肯定意見は共に82%。 本校での生活指導が適切に行われているかについて、保護者の肯定意見は82%と一定水準なので、今後も維持していきたい。（○）
			「本校では、生活指導は、教科担当者・担任・家庭が連絡を取りながら行われている。」（アンケート22） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が98%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ70%、66%。 本校での生活指導は、教科担当者・担任・家庭が連携して行われているかについて、保護者の肯定意見が66%と低いので、評価していただけるよう向上を目指したい。（△）
		・学校行事や部活動を通して、コミュニケーション能力やリーダーシップを育てる。具体的には以下の通り。 (1)キャンプ・徒歩訓練などの野外活動を通して、自然に親しみ、自然から学ぶ。また、仲間と協力することの大切さを学ぶ。	「キャンプ・徒歩訓練などの野外活動は学校生活を充実させている。」（アンケート16） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が91%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ87%、86%。 キャンプ・徒歩訓練など、本校創立以来継続している野外活動について、キャンプは形を変えて実施できたが、徒歩訓練は熊騒動で実施できなかった。（○）
		(2)能楽、狂言、落語、茶事など日本文化を学ぶ機会と、外務省外交官講演会や米国総領事館講演、英国海外研修(希望者)など異文化を学ぶ機会を通して、真の国際人の育成を目指す。文化祭、体育祭なども、生徒の役割を拡大し、自主的なものとする。	「文化祭・体育祭・合唱祭・各種講演会・校外学習などの行事は学校生活を充実させている。」（アンケート17） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が88%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ90%、94%。 生徒・保護者の数字が昨年並みで落ち着いてきた。（○）
		(3)創立50周年改革で拡大したクラブ活動により、勉学面と合わせて多面的な負荷をかけ、多彩な活躍ができる人材を育てる。	「部活動は、学校生活を充実させている。（該当者のみ）」（アンケート18）	教員の自己評価は肯定意見が84%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ76%、74% 部活動については、生徒の入部率が7割台であるので、統計処理上、生徒、保護者の肯定意見の高数値は望めない。部活動入部者については満足度が比較的高いと考えられる。（○）
		・中１高1オリエンテーションでの講話、中1から高3まで、学年ごとに人権HR、人権啓発映画会及び事前事後指導等を年間で計画実施し、人権に対する意識を高め、他者を思いやる心を育てる。	「本校では、人権教育に関して生徒の意識を高めるように指導されている。」（アンケート12） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が86%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ87%、79%。 人権教育については、自己評価、生徒・保護者の肯定意見は全て一定水準ではあるが、より一層の向上を目指したい。（△）
		・生徒の質問や相談に丁寧に応じる。1クラス30人という少人数制を活かし、授業中の質問は勿論、休み時間や放課後にも丁寧に質問や相談に応じるようにする。担任は、定期的にクラスの生徒との個人面談を実施し、教科担当者は、気になる生徒への個別の声掛けを心掛ける。	「本校の教職員は、生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれる。」（アンケート24） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ88%、79%。 生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれるかについては、生徒、保護者の肯定意見はほぼ8割を超えているが、より一層の向上を目指したい。（○）
（2）学習	・学習活動の成果の検証結果に基づき、本校教育全体の水準を引き上げる。	・授業の質の向上に努める。 各教員が教材準備を入念に行い、生徒に知識、技能を確実に修得させることはもとより、本校オリジナルの20分テスト（下記に記載）やｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの機会を設けることにより、思考力、判断力、表現力を磨く。さらには主体性を持って多様な人	「本校の授業内容は充実している。」（アンケート8） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ89%、83%。 授業内容の充実については、生徒、保護者の肯定意見がともに8割を超え一定の評価はできる。 8年前より導入した授業評価アンケートにより、話し方、板書、説明、理解確認、目標理解、活用機会、学習効果等について、教員一人一人が反省し改善を図っていく。（○）

指導の充実		々と協働して学ぶ態度を育成するために、5年前より中学生はクエストカップへの取り組みを開始した。 また7年前より、全校生徒による全教員に対する授業評価アンケートを導入した。	「本校では、必要に応じて予習・復習・提出物の状態が把握され、指導されている。」(アンケート10) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が90%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ90%、81%。 生徒の予習・復習・提出物の状態把握については、特に生徒の肯定意見は90%と高い。(○)
		・本校オリジナルの20分テスト(1日1科目。5教科×2科目の2週間で1回り)を有効活用し、予習→授業→復習→20分テストという学習のサイクルを身に付けさせることにより、授業内容を理解、定着させることに努める。	「本校では、20分テストの結果が速やかに授業にフィードバックされている。」(アンケート13) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が91%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ85%、75%。 20分テストの授業へのフィードバックについては生徒の肯定意見は一定水準ではあるが、さらなる向上を目指したい。(△)
		・20分テストを補完する意味で、学年毎に年間を通して、課題テスト、客観テスト、総合テスト、模試などを計画実施することにより、学力のより一層の定着を図る。	「本校では、各種テストが適切に計画・実施されている。」(アンケート14) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が91%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ88%、87%。 各種テストの適切な計画と実施については、生徒、保護者ともに肯定意見が9割弱と高いので、今後も維持していきたい。(○)
		・各教科とも、6年間を見通したシラバスを作成し、進度に気を配りながら授業を計画的に進める。	「本校では、シラバスに沿った進度で教科指導が行われている。」 (アンケート9) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が88%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ67%、70%。 シラバスに沿った進度については、生徒の肯定意見が67%と低い。教員によって、シラバスに沿った進度で指導を行っていないことが考えられるので、改善していきたい。(△)
		・本校では休み時間が原則5分と短いこともあり、授業時間の厳守を心掛ける。	「本校では、授業時間が厳守され、生徒にも同様の指導がなされている。」 (アンケート15) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が98%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ84%、89%。 授業時間の厳守については、生徒の肯定意見が84%。本校では休み時間が原則5分と短いので、より一層の改善を目指したい。(○)
		・生徒の質問や相談に丁寧に応じる。1クラス30人という少人数制を活かし、授業中の質問は勿論、休み時間や放課後にも丁寧に質問や相談に応じるようにする。担任は、定期的にクラスの生徒との個人面談を実施し、教科担当者は、気になる生徒への個別の声掛けを心掛ける。	「本校の教職員は、生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれる。」 (アンケート24) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ88%、79%。 生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれるかについては、生徒、保護者の肯定意見はほぼ8割を超えているが、より一層の向上を目指したい。(○)
		・Classi(学習支援サービス)の導入により可能となった学習記録を有効活用し、生徒の学習・生活の自己管理能力の向上を図る。 担任は定期的に学習記録をチェックして、必要なアドバイスを与える。 昨年度より、中三・高一を中心とした英数の家庭学習に関して、ｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞ ﾗｰﾆﾝｸﾞ(個別最適化学習)を導入した。 ・今年度より高一、高二の希望者を対象に、1年間かけて様々なテーマで自ら調べ、考え、研究し、発表するという探究活動を開始した。	担任は、定期的に必ずClassiで学習記録をチェックして、必要に応じてアドバイスを与える。 昨年度より導入したｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞ ﾗｰﾆﾝｸﾞ(個別最適化学習)により、英数に関する理解を一人一人が深められるようにしている。	6年前のiPadの導入に伴い、Classi(学習支援サービス)で学習記録のチェックが可能になった。クラスの平均学習時間が瞬時に把握できるなどメリットも多いので、今後も有効活用していきたい。また、昨年度より導入したｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞ ﾗｰﾆﾝｸﾞも上手く機能しているようである。(○) ＊今後も学力の三要素(知識・技能、思考力判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を意識した指導の維持・向上に努める必要がある。学力の基本である知識・技能の習得はもとより、日常の授業の中にグループワーク、プレゼンテーションを組み込みさらには演劇ワークショップ、クエストカップへの取組等で表現力を磨き、ICTの有効活用も広げていく。
(3)進路指	・自分の将来を見据えての自己実現のために、適切なキャリア教育・進路指導を行う。	・生徒一人ひとりに向き合い、学習や進路についての個人面談、また必要に応じて、保護者を交えての三者面談を行い、様々な情報提供、適切なアドバイスを行う。	「本校では、学習や進路などに関する生徒個人面談が必要に応じて実施されている」(アンケート25) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ83%、76%。 生徒個人面談については、生徒・保護者の肯定意見の割合は8割前後であるが、より一層の向上を目指したい。(△)
		・各種講演会等を通じて、自分の将来や職業についての意識を深めさせる。 (1)外務省現役外交官による高二対象の講演会で、外交官の仕事内容や外交官になった経緯の紹介を通して国際的な視座を養い、自分の進路についての意識を高めさせる。 (2)千里ライフサイエンス振興財団と連携し、最先端の研究者による高一	「本校の教職員は、生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれる。」 (アンケート24) 肯定評価が概ね80%以上を目指す。 「文化祭・体育祭・合唱祭・各種講演会・校外学習などの行事は学校生活を充実させている。」(アンケート17)	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ88%、79%。 生徒の質問や相談に丁寧に応じてくれるかについては、生徒、保護者の肯定意見はほぼ8割を超えるが、より一層の向上を目指したい。(○) 教員の自己評価は肯定意見が88%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ90%、94%と昨年並みで落ち着いてきた。(○)

導の充実		対象の出前授業を通して、自分の進路についての意識を高めさせる。 ⑶本校卒業生の方に、なぜ学習するのかという問いかけから初めて講演していただき、職業について考えるきっかけを与える。（中三対象） ⑷医療系に興味をもつ生徒に対して、医師や医学生を招いてのセミナー、ワークショップを実施し、意識を高めさせる。（中三～高二対象） ⑸複数の分野で活躍する社会人に自分の仕事について講演してもらい、進路についての意識を高めさせる。（主として高一対象）	肯定評価が概ね80%以上を目指す。	＊大学は通過点であり、大事なのはその先、つまり、自分はどういう職業につきたいのか、そしてどのように自己実現し社会貢献をするのかと、将来のことをしっかりと考えてもらう本校の進路指導の方針を今後も維持・継続し、一人一人の進路選択を強力にサポートしていきたい。
（4）信頼される学校づくり	・教員の資質向上を図るとともに、生徒・保護者から信頼される学校づくりに努める。	・建学の精神を基に、本校教育の継承と進化を図る。創立以来培ってきた良き伝統は継承し、改善すべき点については躊躇せず改善を図ることにより、生徒、保護者にとって満足度の高い教育を目指す。	「本校の教育は全般的に満足できる」（アンケート1） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ89%、90%。 教育全般については、生徒、保護者の肯定意見がともに約9割と高く有難い。今後も本校教育の充実を目指したい。（〇）
			「本校では、建学の精神に基づいて、教育活動が行われている。」（アンケート2） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ80%、86%。 建学の精神に基づいた教育活動については、保護者の肯定意見は86%と高いので、今後も維持していきたい。（〇）
		・生徒、保護者との良好な関係を維持向上させる。 ⑴担任は毎月１回、保護者と懇談の機会を持ち、学校と家庭が協力して生徒の成長を図る。 ⑵緊急時メール配信やClassiによる保護者への連絡周知を徹底する。	「本校では、クラス・学年・学校運営について、保護者との連携が図られている。」（アンケート3） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が86%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ76%、83%。 クラス・学年・学校運営についての保護者との連携については、保護者の肯定意見は83%なので、今後も維持、向上を目指したい。（〇）
			「保護者への連絡や情報公開は適切に行われている。」（アンケート5） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が88%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ83%、91%。 保護者への連絡や情報公開については、保護者の肯定意見は91%と高いので、今後も維持していきたい。（〇）
			「保護者会の実施頻度・内容等は満足できる。」（アンケート7） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ64%、84%。 保護者会の実施頻度や内容については、保護者の肯定意見は84%なので、今後も維持、向上を目指したい。（〇）
		・安心、安全な学校生活を保障する。 ⑴避難訓練の実施により、非常時の行動について指導する。 ⑵生徒の健康管理については、保健部を中心に情報を教員で共有する。 ⑶施設・設備についても改善点があれば、その都度対応する。	「本校では、避難訓練なども実施され、非常時の行動について生徒に知らせている。」（アンケート4） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が79%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ76%、65%。 昨年よりも、生徒の肯定意見は高くなったが、年１回の避難訓練では、生徒の意識を高めるのは難しいのかもしれない。（△）
			「本校では、健康管理が行き届き、安全な学校生活が送れるよう配慮されている。」（アンケート26） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が95%、生徒・保護者の肯定意見はそれぞれ84%、83%。 健康管理など安全な学校生活については、生徒。保護者の肯定意見は8割を超えている。今後も維持、向上を目指したい。（〇）
			「本校の施設・設備は満足できるものである。」（アンケート6） 肯定評価が概ね80%以上を目指す。	教員の自己評価は肯定意見が65%、生徒・保護者の肯定意見はともに84%。施設・設備については、教員の自己評価に比して、生徒・保護者の肯定意見はともに84%。築20年以上にしては、一定程度、満足していただいているのが伺える。（〇）